



大和第二小学校

オーケストラが やっつて来た

文化庁事業の一つ、「本物の舞台芸術体験事業」に大和第二小学校（佐山正校長）が選ばれ、9月27日（火）に神奈川県フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ演奏会が同校体育館において開催されました。

文化庁主催のこの事業は、優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術文化団体等による実演指導、ワークショップやこれらの団体等との共演など本物の舞台芸術に身近に触れる機会を提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養おうとするものです。

神奈川県フィルハーモニー管弦楽団（指揮・松沼俊彦氏、団員74名）を迎えた佐山校長は、「児童たちは、今日のために2学期に入って、運動会と演奏の練習を頑張ってきました。素晴らしい楽団と児童たちが一緒に共演し、本物の演奏を十分に楽しんでもほしい」とあいさつしました。

演奏会では、演奏のほか、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器といるいろいろな楽器の紹介やお話もあり、その後、管弦楽団と児童らは、「おもちゃの交響曲」や「ペルシャの市場にて」の2曲と一緒に演奏しました。



最後に、全校児童（81名）はオーケストラ演奏により、校歌を大きな声で歌いました。

参加した児童らは、「いろいろな楽器を覚えた」「最後にオーケストラで校歌を歌えてうれしかった」などプロの演奏に感動し、鑑賞された保護者たちと一緒に芸術の秋に浸りました。